

詰所の中はビニールハウス状態！

こんな暑いのに！ 空調が効かないなんて！

乗務員の皆さん！毎日、暑い中の乗務、お疲れ様です！

40度を超える気温の中、分厚い制服を身にまとっての業務は、外見で涼しい顔をしていても制服の下は、汗でびしょ濡れ状態ではないでしょうか。

そうした状態で乗務を終えて休憩する詰所はエアコンが効いていて涼しいに超したことはありません。

しかし、東京にある東京第一運輸所の大阪・名古屋の車掌が休憩する詰所は、特に最近空調の効きが悪く、上着を脱いで座っているだけで汗をかくほどの蒸し暑い状態となっています。これでは、会社がいくら「健康管理には注意するように」と言っても、やってることと全然違います！管理者の皆さんの制服は、部屋の中において半袖なんでそういった乗務員の気持ちが汲みにくいのでしょうか！？

有名大学を出て入社してこられた方が車掌で乗務されてますが、さぞかし「入社希望人気」と空調の効き方が矛盾している事に驚いておられるでしょう(°Д°)！

マスコミでは、熱中症で倒れる方が増加しているので水分補給とエアコンの使用を奨励しています。JR東海では、そうした奨励は社員に適用してもらえないのでしょうか。

会社に空調を効かして欲しいと申し出ると「よく故障するんでねえ」との返事をしました。お客様に対しては、親切・丁寧な案内に努めるようにとも会社は指導します。空調もまともに効かない部屋に何時間(長いときは4時間)も放置されて、多客の新幹線に乗務してまともな案内が出来るでしょうか。

会社はさすがに暑いことに気がついた社員の声が気になったのか、中古の扇風機2台と小型冷風扇を一台置きました。誠にありがたい話ですが、これでは何ら涼しい快適な詰所になることはありません。

私たちは、詰所空調に関する緊急の申し入れをして現状の改善を要求しました。社員の健康管理、安全を守る乗務員の健康を大事にする会社なら直ぐに修理手配をするはずです。